

いわさきちひろ生誕 100 年「Life 展」あそぶ plaplax 展覧会ボランティア募集！

——見て、触れて、体感して、“あそぶ”を通してちひろを再発見
アートユニット・plaplax が、いわさきちひろの新たな魅力を開きます！

ちひろ美術館・東京では、いわさきちひろの生誕 100 年にあたる 2018 年、いわさきちひろと、さまざまな分野で活躍する作家が「Life」をテーマにコラボレートする展覧会を開催します。2018 年 7 月 28 日（土）～10 月 28 日（日）まで開催の展覧会「Life 展」あそぶ plaplax では、展覧会の魅力を来館者に伝えるボランティアを大募集！来館者と作品を「つなぐ」楽しみ、来館者の「！」を引きだすよろこびを、いっしょに味わってみませんか？

●「Life 展」あそぶ plaplax

ちひろ美術館・東京は、ちひろが亡くなるまでの 22 年間を過ごした場所に建っています。いわさきちひろは、生涯、子どもを描き続けた画家でした。いきいきと体を使ってあそんだり、自由な空想をふくらませてあそんだりする子どもたちの姿を、ちひろは数多く描きました。子どもは、あそびながらさまざまなことを体験し、体全体でこの世界の物事を知覚していきます。



plaplax 「絵の具の足あと」 2018 年



plaplax 「絵のなかの子どもたち」 2018 年

●あそんで体感 ちひろの絵の魅力

本展では、多様なメディアを使い、体験型の作品を展開し続けるアートユニット plaplax（プラプラックス）が、「あそぶ」をキーワードに、ちひろとコラボレートします。見る人の影がスクリーンに投影された絵のなかに登場したり、動きにあわせて足元に色が広がったり。デジタル技術を駆使し、ちひろの絵のなかに入ってあそべる作品が展開します。plaplax が制作した驚きと楽しさにあふれる作品で、あそびながらちひろの絵の魅力を体感することができます。



●ちひろが子どもの心になりきって、楽しみながら描いた絵本

『こどりのくるひ』『となりにきたこ』『ぼちのきたうみ』の 3 冊の絵本をテーマに、絵本とあそびが融合した「絵を見るための遊具」を plaplax が制作します。のぞいたり、のぼったり、ぐぐったり、体をいっぱい使ってちひろの絵本の世界観を楽しめます。

plaplax 「絵を見るための遊具」 2018 年 撮影：森本菜穂子

●いわさきちひろ (1918-1974)



いわさきちひろ 1973年



風船とまい上がる少年
『あかいふうせん』(偕成社)より 1968年

福井県武生(現・越前市)生まれ、東京で育つ。東京府立第六高等女学校卒。1950年、紙芝居「お母さんの話」を出版、文部大臣賞受賞。同年、松本善明と結婚、翌年、長男猛を出産。1956年 小学館児童文化賞、1961年 産経児童出版文化賞、1973年『ことりのくるひ』(至光社)でポロニャ国際児童図書館グラフィック賞を受賞。1974年 肝ガンのため死去。享年55歳。

●plaplax (近森基、久納鏡子、笈康明、小原藍)



メディアアートユニット minim++ (ミニムプラプラ)として活動していた近森基、久納鏡子と、インタラクティブメディアの研究者、笈康明を中心に2004年に設立。主にインタラクティブアート分野における作品制作を手がける一方、公共空間、商業スペースやイベント等での空間演出や展示造形、映像コンテンツ制作、インタラクティブシステム開発、プロダクトデザイン、大学や企業との共同での技術開発など幅広く活動を展開する。2008年からはアニメーションデザイナーの小原藍が参加し、NHK Eテレの「デザインあ」などの番組制作にも携わる。また、“Imaginature”をテーマにメディアアートの視点、手法で心象自然をスケッチする活動など、さらにその領域を広げている。

<http://www.plaplax.com/>

【展覧会概要】

展示名： いわさきちひろ生誕100年「Life展」あそぶ plaplax

主催： ちひろ美術館

特別協賛： 株式会社ジャクエツ

協賛： 株式会社ニコン、株式会社ニコンイメージングジャパン、元亨社

協力： 遊具設計 A+Sa (株) アラキ+ササキアーキテクト

遊具制作： 大木洋平 (OKI FURNITURE & DESIGN)

音楽： 高見澤淳子 サウンドエンジニアリング・ギター： 高見澤克哉

プログラム： 赤川智洋

後援： 絵本学会、(公社)全国学校図書館協議会、(一社)日本国際児童図書館評議会、日本児童図書出版協会、(公社)日本図書館協会、杉並区教育委員会、中野区、西東京市教育委員会、練馬区

会期： 2018年7月28日(土)～10月28日(日)

会場： ちひろ美術館・東京

いわさきちひろ生誕100年サイト 100.chihiro.jp

●ボランティア応募について

<応募条件>

- ・18歳以上の方（高校生不可）
- ・責任を持って活動に参加できる方
- ・この展覧会に興味を持って参加できる方
- ・来館者とのコミュニケーションを楽しめる方
- ・ちひろ美術館の活動全体についてご理解いただける方

<活動内容>

- ・いわさきちひろ生誕100年「Life展」あそび plaplax 展覧会会場にて、来館者とコミュニケーションを取りながら、作品の楽しみ方を伝えていただきます。
- ・**活動期間：7/28（土）～10/28（土）**の展示期間中、主に学校の夏季休業期間および土日祝を中心に希望日を伺いながら調整します。シフトは半日交代を予定しています。
- ・交通費：実費支給（日額1000円まで）
- ・いわさきちひろ生誕100年「Life展」コンセプトブックとLife展パスポート*を差し上げます。
*ちひろ美術館・東京と安曇野ちひろ美術館で開催する、すべての「Life展」に何度でも入館できるパスポート

<応募方法>

- ・規定エントリーシート（ボランティア歴があればそれも記入）
送付先：〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2 ちひろ美術館・東京 ボランティア係宛
（応募書類は返却いたしませんのでご了承ください）

① 第一次募集

- 締切： 7月20日（金）必着
- 選考結果通知： 7月21日（土）
- 研修： 7月22日（日）14:00～16:00 ちひろ美術館・東京にて **※研修参加必須。**

① 二次募集

- 締切： 8月10日（金）必着
- 選考結果通知： 8月11日（土）
- 研修： 8月12日（日）14:00～16:00 ちひろ美術館・東京にて **※研修参加必須**